

1 回 議会 第 1 回 第 市 定

議案54件を可決

副市長の選任など

平成30年第1回市議会定例会が、2月13日から3月23日までの39日間の会期で開かれ、議案54件が原案どおり可決されました。

可決された54議案の内訳は、人事案件20件、条例の新規制定4件、条例の一部改正11件、土地使用権確認請求事件などの和解2件、平成29年度補正予算7件、平成30年度予算7件、議員発議案3件です。

人事案件

副市長

池田信一氏が3月31日をもって任期満了となることから、再度同氏を選任するため、議会の同意を得ました。可決された主な議案は次



所信表明を行う小出市長

県循環器病センター 脳卒中患者 平日の日中のみの受け入れに 脳卒中担当医師の減員で



救急医療など重要な機能を担う県循環器病センター

県循環器病センターでは、4月から、脳卒中救急患者の受け入れを、平日、日中のみとすることになりました。これまででは365日24時

間体制で受け入れていましたが、医師の異動、退職が続いたため時間外の受け入れは平成29年10月から週3日のみとなりました。また、4月1日にも脳卒中担当医師の減員があったため、非常勤医師数名を確保したものの、医療の安全を確保する観点から、脳卒中救急患者の受け入れをさらに制限せざるを得ないこととなりました。

県では、時間外診療体制の再開に向けて、医師確保と院内体制の整備に引き続き取り組んでいます。なお、脳卒中の時間外診療については、すでに各地域の救命救急センター（帝京大学ちば総合医療センタ

すみ市・一宮町・睦沢町・長生村・白子町・御宿町）と連名で1月10日に、医療機能の維持、確保を県に要望しました。また、市議会では同様の意見書を決議し、県に提出しており、市町会長連合会でも署名活動が行われ、約6万9千人の署名が集まりました。

問合せ先 保健福祉課 ☎(23)9813



平田浩造 監査委員



池田信一 副市長

池田氏は、昭和52年に本市に採用され、財政部長、総務部長などを歴任し、平成26年4月に副市長に就任しました。安藤秀一氏が3月31日

をもって任期満了となることから、新たに平田浩造氏を選任するため、議会の同意を得ました。平田氏は、昭和57年に本市に採用され、環境部長、教育総務部長などを歴任しました。

条例の制定・一部改正

公共施設の個人利用における子ども料金の無償化に伴う関係条例の整備に関する条例など

「市原市消防団条例」の引上げにより、処遇を改善するため、改正をしました。消防団員の報酬と手当の引き上げにより、処遇を改善するため、改正をしました。

平成30年度一般会計予算 歳入歳出ともに11億3886万6千円を増額補正しました。その結果、歳入歳出予算の総額は、933億4521万3千円となりました。また、継続費の変更・廃止、繰越明許費の追加・変更、地方債の追加・変更・廃止も併せて行いました。

「市原市において千葉県循環器病センターの機能を今後も維持確保することを求める意見書について」などの3件が可決されました。

問合せ先 総務課 ☎(23)9822

議員発議

針2017」と「第1次実行計画見直し方針2017」に基づき進化する実行計画の着実な推進を目指した編成とし、歳入歳出予算の総額を906億3千万円に定めました。